

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.28.1.3

No.29

ガーマ モハンマド・アリ

明けましておめでとうございます。
今年もカイロからたよりをお届けいたします。

カイロでは、日本のようなお正月の風情をあまり感じません。天気はよく、**日中は18℃**くらいまで気温は上がりますので、新潟に比べれば随分暖かいです。エジプトの学校は、12月31日～1月2日は休みでしたが、会社は1月1日も仕事をしているところもあるようです。**エジプトはイスラームの国**なので、**イスラム暦（ヒジュラ）**の方が重要なのかもしれません。

イスラム暦では、10月14日が1月1日でした。この日だけが祝日です。西暦とイスラム暦は約11日ずれているので、**毎年イスラム暦の祝日は、約11日ずつ早まります。**

1月2日に、初詣というわけではありませんが、**モハンマド・アリ・モスク**に行ってきました。イスラム寺院のことを**英語で「モスク」、アラビア語では「ガーマ」と**言います。このモスクは、**シタデル**という**12世紀につくられた城塞の中**にあります。この城塞は、十字軍の襲来に備えるため高い城壁で囲まれていて、モカッタムの丘の上に建設されました。だから、シタデルからはカイロ市内はもちろん、遠くはギザの三大ピラミッドまで見えます。シタデルやモハンマド・アリ・モスクは、カイロ観光のハイライトのひとつと言えます。



モハンマド・アリ・モスク



モハンマド・アリ・モスクのシャンデリア

モハンマド・アリ・モスクは、エジプトの20ポンド紙幣にも描かれています。**鉛筆のように細長い2本のミナレット（塔）**が特徴的で、とても美しいです。また、多くのドームもあり、室内は**大きなシャンデリア**がとてもきれいです。モスクは入場料はかかりますが、金曜日の礼拝時を除けば、誰でも自由に見学することができます。写真撮影も自由で、好きなところに座り、思い思いの時間を過ごすことができます。